

2022 年 1 月

ホワイトペーパー

会議室のスケジューリングを簡素化する

ビデオ会議機器および AV 機器を
最大限に活用



作成 :

RECON
RESEARCH

提供 :

logicool

はじめに

従業員数が100人の企業からも10万人の企業からも、「全員の需要を満たすだけの会議室がない」という話をよく耳にします。

会議室の不足という問題は今に始まったことではありません。「会議を行うのに適したスペースを適切なタイミングで見つけることができない」というエンドユーザーの不満の声は、1990年代後半から聞かれています。以来、業界では、会議室の信頼性、会議体験の質、コストに関する多くの問題を解決してきました。しかし、会議室のスケジューリングの課題がまだ残っています。

会議室のスケジューリングの課題

会議室のスケジューリングは簡単に行えなければなりません。航空券、ホテル、病院の受診、ビジネス会議などの予約は、日々無数に行われています。しかしどういいうわけか、会議室に関しては状況が異なっています。

多くの企業では、いくつかの理由から会議室の需要が非常に高まっています。

- **オープンオフィスの人気** - オープンオフィスで働く従業員は、集中力を高めたり、同僚と会議をしたり、電話をかけたりする際に会議室を使用します。
- **役員個室の減少** - これまでは専用の個室を割り当てられていた多くの重役が、現在はプライベートなワークスペースとして会議室を使っています。
- **チームベース、プロジェクトベースでの作業の増加** - 作業チームは、アイデアを出し合ったり、コラボレーションしたり、問題を解決したりするときに会議室を使用します。
- **好印象を与える必要性** - 重役やセールスチームは、クライアント、見込み顧客、パートナーとの会議に会議室を使用します。
- **従業員の分散** - ハイブリッドワーカーは、分散した同僚らと会議するオフィスおよびスペースとして会議室を使用します。

会議室の需要は、こうした傾向の高まりとともに増えていくはずですが。



図1：一般的なビデオ会議室

スケジュールリングの課題を解決するための最初のステップは、重要な問題について理解することです。

会議室スペースは高コスト

近年、AV やビデオ会議設備のコストは下がってきていますが、会議室スペースのコストは高いままです。たとえば、広さ 3.5×4.5 メートルの小会議室でも、月々のコストは 20,000 ドルに上ることもあります¹。

専用の会議室

下記例のように、多くの会議室は専用で、特定のユーザー以外は利用できません。

- 重役フロアにある会議室は幹部向けに確保されている。
- 人事部または法務部の近くにある会議室は両チームのために確保されている。

スケジュールリングシステムの制約

機能豊富な会議室スケジュールリング システムは数多くありますが、ほとんどの企業は、スケジュールリングにはグループウェア（Office 365、Google カレンダーなど）を使用しています。

グループウェアのシステムでは、ユーザーは会議の予約に使用するものと同じユーザーインターフェイスで会議室を予約します。この方法で会議室を予約することには、以下のような制約があります。

- 多くの企業で、カレンダーシステムに登録されていない会議室が存在する。
- グループウェアのシステムは、自分が予約した会議室をオフィススペース内で探すときに役に立たない。
- グループウェアのシステムでは、モバイルユーザーが移動中に会議室を検索、予約することが簡単ではない。



図2：一般的な会議室予定表アプリケーション

¹ <https://www.squarefoot.com/office-space/ny/new-york/manhattan>

ゴースト会議

会議室を予約した後、日程が変更になったり会議自体が中止になったりしたときに、予約をキャンセルし忘れるということがよく起きます。その会議室は、空いているのに使用できないままです。

こうした「ゴースト会議」が繰り返されたり、すでに退職した人の設定した会議室の定期的な予約が取り消されないままになっていたりすると、社内にある会議室の多くが無駄に占有されます。

開始予定時刻を 10～15 分経過しても誰も会議室に来なかった場合に、会議室の予約を自動でキャンセルできるシステムを導入している企業もあります。しかし、こうした直前のキャンセルがあっても、その会議室がたったいま空いたことを誰も知ることができないため、問題の解決になるとは言えません。

臨時の会議/会議室を占拠する人

最も重要な会議が、事前の計画や準備なしに突然始まる場合があります。そして、そうした会議の多くで会議スペースが必要になります。

また、会議中に予期せず会議室が必要になることもあります。たとえば、2 人の従業員が始めた簡単な打ち合わせが、AV 機器を備えた会議室における、アイデア出しのセッションに発展した場合などです。

こうしたユーザーは通常、建物の中を歩き回って空いている会議室を見つけ、そこを占拠します。

皮肉にも、会議室のすぐ前にいる、あるいはその中にいるこうしたユーザーですら、その会議室が空いているのか予約済みなのかわからないのです。

会議室の近くあるいはその中にいても そこが空いているのか予約済みなのかわからない

会議室を予約していた人が現れたら、ユーザーはそこを出て別の会議室を見つけなければなりません。会議室から会議室へと数分おきに移動するこうした行為を、当社では「会議室クロール（会議室間のこそこそ歩き）」と呼んでいます。

まとめ

会議室の高い需要、会議室数の不足、グループウェアのカレンダー機能上の制約、無断キャンセルやゴースト会議の蔓延、会議室を占拠する人々といった課題がある中、世界中の企業が会議室のスケジュールリングに頭を悩ませているのも無理はありません。

スケジュールリングパネルの魅力と難点

スケジュールリングパネルは、会議室のドアの外側に設置するタッチ操作式ディスプレイであり、バックエンドのサーバー、スケジュールリングソリューション、スペース管理サービス（Microsoft Exchange/Office 365、Microsoft Teams、Google カレンダー、Zoom、Robin など）に接続されています。

スケジュールリングパネルには、専用デバイス、あるいは既製のタブレット（iPad、Android タブレットなど）を利用でき、次の3つの主要機能を備えています。

機能	説明	対応ソリューション
空き状況の表示（緑色/赤色 LED）	空いている会議室をすばやく簡単に探せる	多くのスケジュールリングパネルソリューション
会議室の予定および情報の表示	会議室の予定、情報（規模、空き状況など）、利用可能な時間帯を確認できる	ほぼすべてのスケジュールリングパネルソリューション
会議室予約機能	会議室をすばやく簡単に予約できる	ほぼすべてのスケジュールリングパネルソリューション

図3：スケジュールリングパネルソリューションの主な機能

上記の各機能は、先述した課題の少なくともいずれか1つに対処しています。たとえば、空き状況の表示により、予約されている会議室をユーザーが占拠したり邪魔したりすることを防げます。

しかし、多くのスケジュールリングパネルソリューションで、別の問題や課題も浮上しています。

「既製」のスケジュールリングパネル

スケジュールリングパネルソリューションの中には、商用オフザシェルフ（COTS）デバイス（iPad、Android タブレットなど）による製品がありますが、これらは壊れたり盗まれたりしやすく、かさばる外部電源アダプタや外部ネットワーク ドングルが必要なうえ、頻繁な更新も欠かせません。

また、こうしたデバイスは、24 時間 365 日、常時オンの状態で使用するようには設計されていません。内蔵バッテリーの膨張や過熱で、ショートしたり壊れたりするといった話が多く聞かれます。

低い柔軟性

スケジュールリングパネルソリューションの中には、専用のハードウェアを使用するものや、スケジュール登録や通話用に単一のプラットフォームしかサポートしていないものがあります。こうしたソリューションでは、顧客はプラットフォームを変更することを制限されます。

ないよりはましであるものの、多くのスケジュールリングパネルソリューションは、機能、パフォーマンス、信頼性、安全性、あるいはコストの面で妥協を余儀なくされる

プロフェッショナル向きではないデザインとフォームファクター

加えて、スケジューリングパネルの中には、間に合わせの、かさばる一般消費者向けのマウントや筐体を利用しなければならない製品があり、これらは見栄えが悪く設置にも手間がかかります。不安定な Wi-Fi 接続を使用するものもあります。

追加のソフトウェアやシステムが必要

さらに、サーバーソフトウェアやクラウド プラットフォームを追加する必要があるものもあります。それによって、スケジューリング環境の導入と管理はともに複雑になります。

会議室の AV 機器に接続されていない

スケジューリングパネル ソリューションの中には、情報がまったくない中で稼働するものもあります。つまり、それを見てもその会議室（または室内の AV 機器）が実際に使用されているかどうかはわからないのです。

大規模な導入が高額

ソリューションの中には法外に高額なものがあります。そうしたソリューションを採用した場合、ユーザーは一部の会議室にしかスケジューリングパネルを導入できません。こうした部分的導入は、企業ではかなり一般的です。

まとめ

会議室の予約に関する課題に対処するには、数多くのバックエンド プラットフォームをサポートしている、使いやすく優れた設計のスケジューリングパネル ソリューションを見つける必要があります。さらに言えば、設置が容易で、耐久性があり、コスト効率よく大規模に導入できるものが求められます。

注目のソリューション

本調査のスポンサーであるロジクールは、Tap スケジューラーという会議室向けスケジューリングパネルを発表しました。Tap スケジューラーは、上に述べた課題の多くに対処しています。

Tap スケジューラーは、小、中、大会議室で 24 時間 365 日使用できる会議室専用スケジューリングパネルです。



図4：ロジクール Tap スケジューラー - ドア枠への設置例

Tap スケジューラーは、疎油性（指紋付着防止）コーティングが施された、ガラス、マリオン（ドア枠、窓枠など）、壁への設置が可能な、10.1 インチの静電容量方式タッチスクリーンを備えています。マウントは、すべて追加コストなしで製品に含まれています。

Tap スケジューラーの側面に組み込まれた LED により、ユーザーは遠くからでも空いている会議室をすばやく確認できます（下図参照）。



図5：ロジクール Tap スケジューラー- 空いている会議室（緑色 LED）と予約済みの会議室（赤色 LED）を通路から確認

Tap スケジューラーは単一の PoE ネットワーク ケーブル（電源と IP ネットワーク接続の両方に対応）のみを使用するため²、すばやく簡単に設置できるうえ、すっきりとして洗練された見た目を実現します。

Tap スケジューラーは、Microsoft Teams、Zoom Rooms、Robin、Meetio、その他の会議室スケジューリングアプリを実行できます（下図参照）³。



図6：ロジクール Tap スケジューラー- 会議室スケジュールを（左から）Microsoft Teams、Zoom、Robin、Meetio で表示した画面

Tap スケジューラーのスケジューリングおよび予約機能は、ソフトウェアとの連携によって外出先でも使用できます。会議室の即時予約、会議へのチェックイン、スペースの事前予約をすべて、Tap スケジューラーから行えます（各ソフトウェアによる）。

また、IT 部門の管理者は、ロジクール Sync デバイス管理と、ビデオ会議サービスの提供会社のポータルを使用して、Tap スケジューラーを一元的に管理することができます。

²Tap スケジューラーは、有線（イーサネット）または Wi-Fi ネットワーク接続で使用できます。

³販売状況、認定、互換性に関する最新情報については、[ロジクールのウェブサイト](https://www.logitech.com/jp)をご覧ください。

結論

リモートで働く同僚や在宅勤務の従業員とつながり、コラボレーションするために、世界中の企業が AV 対応の会議室に依存しています。しかし、会議室を見つけ出してすばやく予約できるようにすることは、依然としてあらゆる規模の企業における課題です。

スケジューリングパネル ソリューションは、会議室のスケジューリングにまつわる多くの一般的な課題に対処しています。

ロジクール Tap スケジューラーは、最も需要の高いオフィス環境に特化した、魅力的で設置の簡単な、マルチプラットフォーム対応の会議室スケジューリングパネルです。

ロジクールについて



(下記の情報はロジクール提供)

株式会社ロジクールは、スイス連邦のローザンヌに本社を置く、人々にデジタルエクスペリエンスを提供する世界的なリーディング企業、Logitech International が 100%出資する日本法人です。さまざまなプラットフォームに対応する多彩なハードウェアとソフトウェアを通じて、デジタル機器を使った生活をより快適なものにします。コンピュータのコントロール製品をはじめとして、ミュージックやビデオ、ゲーミングなど多岐にわたる製品やサービスを、35 年以上にわたって提供しています。

ロジクールのビデオコラボレーションの目標は、品質を犠牲にすることなく、すべての企業とすべての個人がアクセスできるビデオ会議ソリューションを手頃な価格で提供することです。すべての会議室、ワークスペース、自宅でビデオを活用できるようにしたいと考えています。ロジクールビデオコラボレーション製品の詳細については、www.logitech.com/vc、www.linkedin.com/showcase/logitech-video-collaboration、[@LogitechVC](https://twitter.com/LogitechVC) をご覧ください。

Recon Research について



Recon Research (RR) は、企業のコミュニケーション分野に焦点を当てた分析/市場調査企業です。当社は、ユニファイドコミュニケーション、ビデオ会議、コラボレーションとアイディエーション、AV ソリューション、ワイヤレス プレゼンテーションなどを対象にしています。

RR は、企業のお客様、ベンダー、チャネルパートナー、プロの投資家の方々に、事実に基づいて意思決定するために必要な情報と洞察を提供しています。

RR は、15 年以上にわたる企業ブリーフィング、市場分析、対象分野の製品およびサービスの現地テストに基づく深い知識と経験で、他社と一線を画しています。

詳しくは、www.reconres.com をご覧ください。

連絡先情報

Recon Research, Inc.
11910 レイクハウス・レ
ーン
パークランド、フロリダ
州 33076 米国

著作権通知

本ドキュメント内の情報は Recon Research, Inc.(RR) に帰属し、米
国および国際著作権法によって保護されています。

商標通知

本刊行物に記載されているすべての企業、製品、サービス名
は、各所有者の商号、商標または登録商標です。

画像・グラフィック

本刊行物で使用されているすべての画像とグラフィックは、RR
または各所有者の厚意によって作成、所有、ライセンスされた
ものです。